

山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画（後期計画改定版）（案）に関するパブリックコメントの実施結果

1. 山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画（後期計画改定版）（案）の内容等に対する意見と市の考え方

No.	意見の内容	市の考え方
1	<p>「計画の本質的課題」について 本計画案は、少子化による児童生徒数の減少という避けられない課題に対応し、教育環境の維持・向上を図ろうとする点で一定の理解ができます。</p> <p>一方で、問題の本質は単なる学校規模の調整にとどまらず、</p> <p>①子ども一人ひとりの学びの質をどのように担保するのか、 ②学校再編が地域コミュニティに与える影響をどう最小化するのか、 ③将来の人口動向を見据えた柔軟な見直しの仕組みが十分か、という点にあります。</p> <p>特に統廃合を進める場合、通学時間の増加や地域との結びつきの希薄化への具体的な対策が明確でなければ、市民の理解は得られません。計画の実施にあたっては、数値目標や配置方針だけでなく、保護者・地域住民との継続的な対話と、定期的な検証・修正を前提とした運用を強く求めます。</p>	<p>学校は、地域コミュニティの核として地域とも深いつながりがあることは十分理解しています。また、企業誘致や若い世代の定住促進への対策は、市全体の取組として進めていくこととなります。</p> <p>今後、地域の学校をどのようにするのかについては、地域住民や保護者の理解と協力を得ながら丁寧に対応してまいります。</p> <p>なお、本計画（案）では、学校統合を行うとした場合の組合せの例は示しておりますが、現時点で個々の学校の統廃合を進めるか否かについては定めておりません。学校の小規模化が進んだ場合の対応として、統合するのか、小規模校のまとめるのか、他の方法をとるのか、いくつかの選択肢を例示しておりますので、どのような対応をとるのかについて、それぞれの地域で充分に議論したうえで決定していくとしています。</p>
2	統合反対です。学校がなくなると、こそだて世代は、住まなくなります。統合を繰り返すだけで解決にはなりません。山武市に仕事があって若い人が住むような事を考えて欲しいです。企業や工場の誘致など。	

2. その他の意見

- (1) 生徒・児童数が減少しているなかでの成東中学校の建替えは必要でしょうか。図書館などは集約化されるのは逆方向に向かっているのではないでしょうか。
まずは、山武市のゴミ処理施設にお金を優先的に使ってください。